

平成27年12月17日(木)

ソーラーシェアリングハウス(営農型太陽光発電)の 推進について

- ・ ソーラーシェアリングハウスは、太陽光パネルの設置で売電収入を得ながら、その下の土地を活用して農業をおこなうもので、農家の収入の増加、耕作放棄地解消といった効果が期待されます。
- ・ ソーラーシェアリングハウス(営農型太陽光発電)の普及を推進することで、農業再生・地域活性化に貢献します。

株式会社トマト銀行(取締役社長 高木 晶悟)は、やおひじファーム(代表 土方 将司)がおこなうソーラーシェアリングハウス(営農型太陽光発電)の設備資金のご融資を取り組みいたしましたのでお知らせいたします。

ソーラーシェアリングハウスは、農地における農業の適切な継続を前提に、農地で太陽光発電をおこなうもので、売電収入を得ることで収入を増やすことができる農業の新しい投資の形として注目が高まっており、農家の収入の増加、耕作放棄地解消といった効果が期待されます。

本件は、当社が扱ったソーラーシェアリングハウスの第1号案件で、太陽光パネルの設置で売電収入を得ながら、その下の土地を活用して農業(椎茸の菌床栽培)をおこなうものです。当社が農林水産省の通知(※)に基づき、そのスキーム構築から支援をおこない、取り組みに至りました。

※平成25年3月31日付 農林水産省の通知「支柱を立てて営農を継続する太陽光発電設備等についての農地転用許可制度上の取扱いについて」

当社は、今後も地方創生と地域経済の活性化に向け、地域のお客さまを積極的に支援してまいります。

記

<ソーラーシェアリングハウスの概要>

- 1 発電所の名称 やおひじファーム発電所
- 2 所在地 岡山県備前市鶴海1431-1
- 3 発電能力 49.5kw
- 4 融資金額 10百万円
- 5 発電開始日 平成27年11月9日(月)
- 6 栽培品目 椎茸(菌床栽培)



以上

本件に関するお問い合わせ先	コンサルティング営業部	曾田	TEL 086-800-1820
報道関係のお問い合わせ先	経営企画部(広報担当)	みつざね 光實・俣野	TEL 086-221-1145